

業 種	鉄道・軌道
取組分野	安全重点施策の確実な実施等
テーマ	自社の安全課題等を踏まえた中期安全計画の見直し・改善
取組の狙い	安全に係る自社の現状を把握し、その結果から見いだされた課題等を次期中期安全計画に反映する。
具体的内容	<p>東日本旅客鉄道(株)では、自社の中期安全計画(安全5ヵ年計画)の見直し・改善に当たり、以下の取組みを行っている。</p> <p>1. 社員の安全意識アンケート調査</p> <p>平成20年7月に次期安全5ヵ年計画策定作業の一環として、社員の安全意識の調査、安全計画策定への参画意識の創出を目的にグループ会社を含め、社員約55,000人を対象に安全に係るアンケート調査を実施。マークシート方式(一部自由記述を含む)の17問により、現在の取組状況における、「会社全体」「職場」「個人」のそれぞれの視点から、「安全の現状認識」「安全上の課題と今後必要な取組み」を調査。結果を次期安全5ヵ年計画に反映させた。</p> <p>2. 安全5ヵ年計画の進捗状況の把握</p> <p>平成20年度までの安全5ヵ年計画「安全計画2008」を踏まえ、本社各主管部で年度の組織目標を定めるとともに、それを受けて、各支社では年度実行計画を定め、経営企画部が半期に1回、本社各主管部及び各支社に対する組織目標のヒアリングを実施し、その進捗状況を確認。また、各施策の個別の進捗については、鉄道事業本部内の打ち合わせで安全統括管理者が毎月確認することで、安全設備の整備状況や安全マネジメント体制の構築状況のほか、特に安全上の課題となるものについて把握を行っている。</p> <p>3. 安全5ヵ年計画の見直し・改善</p> <p>平成20年度までの安全5ヵ年計画「安全計画2008」の進捗状況のほか、上記アンケート調査の結果(アンケートで見出された社員の安全に関する意識の状況や課題)等から、安全に係る自社の現状の課題等を十分に把握・精査したうえ、平成21年度からの次期安全5ヵ年計画「安全ビジョン2013」を策定。</p>

	<p>新たな2つの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全に関する人材育成・体制の充実</li> <li>想定されるリスク評価による事故の未然防止</li> </ul> <p>安全文化の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JR東日本グループの安全文化を築こう!</li> <li>三現主義を行動基準に!</li> <li>原点に戻ってCS運動を進めよう!</li> </ul> <p>安全設備重点整備計画の推進</p> <p>安全マネジメント体制の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全を担う人づくり</li> <li>グループが一体となった安全性の向上と三大労働災害対策の徹底</li> <li>「安全」と「安定」</li> </ul> <p>着実にリスクを低減させる取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たなリスク評価と取り組み</li> <li>重大な事故への対策</li> </ul> <p>お客さまの死傷事故 社員の死亡事故* (グループ会社・パートナー会社を含む) → 0</p> <p>※年間200件近く発生している社員の傷害事故についても低減していく</p>
取組の効果	<p>1. 10年前のアンケート結果と比較し、職場の安全風土、社員の安全意識の推移を把握し、従来からの安全に関する各種取組みの効果・有効性を確認。</p> <p>2. チャレンジ・セイフティ運動の原点回帰、安全知識・技術の継承の必要性など、アンケートで把握した安全上の課題を、次期安全5カ年計画に反映。</p>
事業者名	<p>東日本旅客鉄道(株) (連絡先: 鉄道事業本部 安全企画部)</p>